

# 広報 ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 文書広報課 ☎(01885) ② 代 2100  
印刷所 湖東印刷所 ☎(01885) ② 2430 一部35円 毎月 1日・15日発行



五城目町長

加賀谷力司

年頭に あたつて

成

伊藤石邨氏揮毫



明けましておめでとうございます。  
新しい年の門出にあたり、町民の皆様の一層のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。  
過ぐる五十六年は、新里町内会の誕生をはじめ弓道場、鐘楼の完成、国道二八五号線秋田峠トンネルの開通、広域基幹林道五秋線の開通、中央線の局部開通など、各施策が目に見えて充実に、一段の飛躍を上げつつありますことは、偏に町民の皆様がのたまざるご努力の積み重ねと、町政に対する深いご理解、ご協力の賜であると存じここに心から感謝申し上げる次第であります。  
さて新しい年、昭和五十七年を迎えましたが、わが町はこれまで昭和四十五年二月に発表しました総合開発計画の線に添い、活気ある、住みよい暮らしよい、魅力ある田園都市づくりに邁進してまいりましたが、本年は、更に、この計画の着実な実施を図りつつ、都市計画、新農構、新林構、第三期山振、農村総合整備モデル事業等、各種補助事業にのせ、生産基盤と生活環境の整備を一層推し進めるとともに、福祉の増進、教育の振興に渾身の努力を傾注したいと存じます。  
また、待望久しかった役場新庁舎が七月には完成する手筈になっております。  
今世界的な景気低迷の中で、日本の経済状況も極めて厳しいものがあり、加えて、二年続いた異常天候により、本町の基幹産業である農林業、商業は、多くの悪条件に直面しておるわけでありますが、このようなときこそすべての人々が力を合せ、これらの障害を天の試練と受けとめ、地場産業の育成、或いは個性ある町づくりのため、脚下に埋もれた無限の可能性を掘りおこすべく、難局打開に邁進すべきであると考えます。  
空に堂々と広がる大樹のように、新しい年を、どっしりと根をはり、力強く前進しようではありませんか。  
皆様の町政に対する一層のご参加とご協力をお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

# 新春座談会

## 町づくりにも果す

## 私たちの役割

「暮しやすさ、住みやすさとは、万人の希望するものである。万人の希望はそれぞれ個人によって大へん違いがあるように、中々むずかしい（中略）」と同時に、暮らしにくさ、住みにくさがあるに違ひはなく、今の日本はすこぶるぜいたくで、すこぶる甘ったれたではなはだ身勝手だから、希望ばかり多く、それが満たされぬと不平満々であられたところ、大人も少年少女共愛りはないので、暮らしにくい、住みにくいとばかり言いたがる癖があるみたいである。何でもだれかに十分にしていただかねばならん、十分にならんのはだれが悪いと思ひ勝ちなものだ。（中略）

どういう困難な条件のもとでも、人間は暮らし

### 厳しさの中に明るさを

司会：あけましておめでとうございす。

昨年は国の内外町の内外は非常に厳しく多難な年であった。中でも稲作の冷害、風害による被害が



阿部 三郎

大きくて、お互い心配したところであるが、今日は、そのようなことをはねのけるような、明るく力強いご意見をお願いしたいと思ひている。

### 地方の時代その受皿着々と

今日のテーマは「町づくりにも果す私たちの役割」となっているが町では今、役場新庁舎の建設を頂点に各種補助事業にのせながら、道路や施設の整備拡充等、いわゆる生活や生産の基盤整備を進めている最中である。

地方の時代と言われる中で、その受皿を計画的に着々と建設しているが、これからはお互いに協力し合つて、その中身を充実していかなければならないと思ひている。初めに町長から、町政の現状なり将来展望を述べていただきたい

### 役場が先頭になつて

町長：今年も大変厳しい環境下に置かれていますが、考えてみると、平々凡々として自己満足している

やすさ、生きやすさを、たとえ一隅にでも作り上げるものである。今の日本など暮らしやすい点であるいは世界一かも知れないかと思ひられる。となれば、ゆつくりでもいいから、考えてみて、やればいいのではあるまいか。欲ばけ不平ばけにならねば、楽なものだ。役所ばかりを当てるにすぎないならん。

これは、富士正晴という随筆作家が書いた文章である。この内容は、私たちの中に潜在しているものと役所に対する痛烈な批判である。耳を傾ける価値はありそう。

町づくりは、当てることになる役場と、欲ばけ不平ばけに關係のない全町民とのコミュニケーションに負うところ大きいと思ひられる。

五十七年の新春座談会はその意味で、町づくりに果す町民一人一人の役割をどのように考えていたらよいのか話し合つていただいた。

ことよりも、やはり厳しさを身にかけている感じが、それをねのけていくことが、生きていく証左ではないかと思ひます。

昨年は稲の作柄が悪かったり、国の財政を縮小するなどいろいろあったが、役場が先頭になつて景気よく行きたいと思ひます。

私たちが今、景気づけをするというところは、財政も限られていて、ところから、金をばらまくということではなく、それ以外のものでも景気づけをしたいと思ひている。

今日は幸い、これからの町を左右する立場にある方々なので、思ふ存分のご意見を出していただき私もそれを参考にしていきたい。

司会：始め今日のテーマにとらわれることなくみなさんのご意見を出していただきたい。

### 働く場所の確保を

笹川：青年会でも、どうしたらこの町が活気のあるすばらしい町になるかという討論をするが、私たち若者として本当にこの町に住みたい、この町の土になりたいという人が多い。

正直なところ、このような時代だから働く場所がない、会員の中でもこのような立場の人がふえている状況である。町には全国に誇り得るような立派な役場庁舎を建て、私たちも感謝しているところ



笹川 兼清

であるが、庁舎完成後は、私たちが一生懸命仕事ができるような場所を確保してほしいという希望をもっている。

司会：町を景気づける方法の一つとして企業誘致などにより勤め先を確保してほしいとするご意見であるが、渡辺さんからひとつ。

渡部：昨年は農林ともに不況でなんとかならない状態が続いたが、やはり勤め先を確保してもらふこ



渡部 薫

とが一番だと思ひます。この不況を切り抜けていけるものを確保してほしい。

### のびのびと遊べる場所を

山口：私たちは母親として、自分たちの子どもが成長した後の町政、町のあり方などのために、現在私たち母親ができるというのは子供の教育にあると思ひ、その勉強にはげんでいる。



山口 房子

育学級に参加しているが、この中で最近感ずることは、遊べない子どもが非常に多くなっていることである。

子どもが遊べないということは重大なこと、この子どもたちが成長したとき、どんな大人になるだろうかとこの恐れを持っている。それを町政の中で、もう少し考えてほしいという希望を持っている。職場の確保も公共施設の建設も大事なことは違ひないが、子どもたちがのびのびと危険を感じないで遊べるような場所がほしいと思ひている。

### 道路にはみ出る

石村：山口さんと同じ意見で、今岩野に住んでいるが、小さい子どもたちの場合、家の中で遊ぶ割合も多いけれども、小さな公園より



石村百合子

ないので道路にはみでて危険がともなう。もう少し大きい遊び場がほしいものだと思ひます。中では話合っている。

司会：四人の方から話題を提供していただいたが、これに対する町長のご意見お伺いしたい。

### 誘致に努力している

町長：いずれも頭の痛い問題である。町では工場を誘致したいというところで、黒土に三軒におよぶ用地を確保しており、この間も県の東京事務所などをお願いしてきて、いるが、なかなかきてくれないのが現状である。しかしぜひ実現したいものと思ひている。

工場誘致と同時に考えたいのが地場産業をどうするかということである。五城目町で仕事をしたい方々が、一年間に従業員を一人ぐらいつつ増やすことができないものか、またはそのような目標をたてることができないものだろうかと思ひている。

今一つは、新しい職場を創設するような方が出てもらえないものと期待している。

### 重要な地場産業の振興

この間、役場の新庁舎に使用する什器を買ってこれないかという陳情があった。その際、役場で設計書を提示してくれば、どのようなものでも作ってやるということであったが、静かに考えてみると五城目の方々は、何か不足しているような気がしてならない。

設計デザイン、色彩などで勝負の時代であり、それが高く評価される時代でもある。その仕様を寄せておいてという考え方に疑問をもっている。手づくりの味や芸術性を否定するものではないが、より高い評価を得るためには、汗する中で時代に応じた感覚の養成が必要だと思ひます。それを会得してこそ販路の開拓や道も開けてい

くのではない。企業誘致にも努力はするが、沢山ある地場産業をどのように結びつけていくか、新しい年はこのための努力をしていきたいと思っている。

### ある施設の利用度を高めてほしい

子どもの遊び場がほしいという意見であったが、昔と環境も違い遊び方法も違ってきている。昔はガキ大将がいて、遊ぶ方法遊ぶ場所など自分たちの手で探し遊んだものである。今はそれができない。昨年北欧に行ったときのことであるが、子どもたちの自転車姿が相当数目についていた。それも父親と



町長

思われる人と一緒にあった。向こうは部落と部落間が一里(四キロ)以上は離れているので、子どもは体力づくりが日常化していると感じてきた。

五城目の場合、歩いて十分もかからないところに子どもたちの遊び場所は沢山あるので、そのような場所をいかしてもらいたい。この町では海水浴場がないので、屋内温水プールを造っているが、時折り行ってみると三分の一は町外の利用で、秋田市などからバスできている。遊地にはまた、国設スキー場を造っているが、休む場所がなくて不自由だといわれるので今年の春までには一億円相当の休養所を作る。

冬はスキー、夏は森山森林公園、岩野山のいこいの森運動公園広場など大いに生かしてご利用いただ

きたい。

### 水を前面にとらえる河岸公園

公園については、各地にいろいろ公園的なものを整備しているが、磯ノ目に河岸公園の整備を計画している。リオデジャネイロなど外国では水を前面的にとらえているが、日本の場合その反対に背を向けており、汚物の捨て場になっている場合が多い。

私は町長になってから、水が人の心にいろいろな感化をおよぼすことを重要視して、五城目高等学校や町民センターなど、水をとらえた位置に建てている。こんどの河岸公園なども、親子ともども大いに生かしてもらいたいと思っている。

### 町内再発見

渡辺：地区住民をお世話している分館の立場から意見を述べてみたい。二年間やってきた中で、五城目町を再認識するという意味で、ミステリーバスの運行をしてみた。その結果、町内に埋もれたものが多いことを知り、参加した人々から町内外にもっとアピールすべきだという声が出始めている。

### 復活させたい金勢さん

例えば、細越に金勢さんのお社がある。昭和三十二年、三年ころ建立されたものであるが、二年、三年祭りをやっただけで、その後は全く手が入っておらず、道もない状態であった。去年了解を得て道を作り、掃除をしてお見せしたところ、みなさんが大変感激してひとつ祭りをやるうではないか、と非常な盛り上りをみせている。

### 子どもたちの努力に拍手を

毎年子ども七夕祭を行うが、二百人くらいは両側に家並が続いている町内でも、一人か二人く

いより出ない無関心さがある。地元こんなすばらしいものがあり子どもたちが魂をこめて作っている作品に拍手を送ってほしいと思う。今年は、このような町民の意識高揚のため力を注いでみたい。

### 三億円の減収

石井：五十六年のこの町の景気を左右したものは、なんといつても稲作だと思っている。現在米の出荷率をみると八〇割という数字である。つまり二〇割一万八千俵の米が不足なわけだ。金額にして三億一千五百万円相当の農家収入が減っている。加えて米の質が悪いので等級格差が出ており、これだけでも一千万円以上の差があるとみられている。

### 米価運動にご協力ほしい

以前は、米価が上がると他の物価にも影響するというので、三年間米価は抑制されてきたにも



石井 勝博

かわらず他の物価はどんどん上っている。この町の場合、農家の経済状態の善し悪しで左右されるわけで、ここ二、三年沈滞気味なのはそんな面も非常に大きいのではないかとみている。その意味で特にお願いしたいことは、今日は各組織の代表の方々が出席しているので、米価運動のときはぜひ歩調を合わせていただければ幸いだと思う。それがとりまなおさず町内の景気浮揚につながることに思

### 町のビジョンはなににか

和田：座談会の案内にもあったが百年の大計とは言いが、どのような



和田 喜次

な町づくりをしようとしているのかまず伺いたい。いろいろな施設を建てようというが、どのようなビジョンのもとに建てているかということである。

例えば、観光都市、あるいは農耕都市にするのかはっきりしたもののが、われわれ若者はつかめない

町づくりにいろいろな型があつて、先人、先輩の残した事業、遺産を受け継いでいくのか、もう一つは破壊しながら新しい骨組みを作っていくのか、三番目は新たな創造をするのか、この三点になり、そのためには何が必要なのかということになる。

### 町づくりの要素調査

町長の渡辺君から、町民のコミュニティ強化と行事へ参加の手はずはないかというものであったが、これは渡辺君たちの努力で、年々よくなっているのではないかと感謝している。それぞれの町内で創意工夫をこらし、歩行者天国や市神祭を積極的にやっていることなどから、町民の商店に対する認識も大変よくなっている。

また、人々は生産者であり、消費者であるという要素もある。それにもう一つ水という要素がある。これは先程町長さんも言っていたように、水のないところに文化経済は発展しない。世界地図を広げてみれば分かる。

新空港のメリットあるか

交通問題には、多量に、安全に速く、安く運ぶ原則がある。雄和の空港を見てきたが、速いだけで輸送の原則に当てはまらない。まして秋田県の米と木は運べないわけだ、この空港だけでは県内の経済が豊かになるとは思われない。秋田県の生産物は米と木材なので、減反、凶作になると当然県内の経済が圧迫されてくる。

五城目の資源、輸送状態、水量なども青年部で調査して、町をよくなる要素を拾い上げている。

町づくりの方向づけを明確にしたらならないと、若い連中はどのような方向に進んでよいのか分らない状態である。

### 町内独自の創意工夫に人氣

町長：渡辺君から、町民のコミュニティ強化と行事へ参加の手はずはないかというものであったが、これは渡辺君たちの努力で、年々よくなっているのではないかと感謝している。それぞれの町内で創意工夫をこらし、歩行者天国や市神祭を積極的にやっていることなどから、町民の商店に対する認識も大変よくなっている。

七夕行事については、評価、価値を高めてもらうために、役場と関係者と話し合っていると思

### 若人の農業離れを心配

石井君から述べられた稲凶作の件、確かに大変な年だったと思

が、初めは私たちが心配するほど農家も農協も共済もそれほど深刻に受けとめておらなかったようにみえた。ある日の夕方、面湯方面のたんぼをみたが、われわれがみるのも稲の穂が空っぽになっているのがわかる。その割合には困ったとか、大変だという声も聞かれず、静かなだけに不気味なものを感じた。農家の若い人たちが、農業への関心が離れてしまったのではないかと本気になって心配したが、新聞紙上の座談会で、石崎の伊藤君が「農家は昨年悪かったから、今年はがんばるんだ」ということを述べていたので、それでこんなに静かなのかと思ったりしている。

### 救農事業に努力

救農事業というのか、被害額の三億円相当の事業を持つてくるのはどうにもならないと思うが、この間も三千万円くらいの特別な仕事をやっていた。山の方の仕事も県や営林署にお願いして、四、五千万円の仕事はできるのでないかと頑張っているところである。

### 田園都市づくりをめざす

和田君の言う町のビジョンについてだが、これは町の総合開発計画の中に一応示してある。それは「田園都市」をめざすということだ、四十五年には五本の柱を開発重点事項とした施策を発表している町の規模は、三万の人口を前提としているが、そのビジョンの評価は後の人々がすることになるだろう。

第一町の将来を占う青写真を作るのに、現在より縮少し考える町村長はおらないのではないかと。私はぜひそのレベルまで持っていくべきという考え方で計画をたてたわけで、新秋田空港との自動車道路が出来た場合、われわれ町民の努力だけでは不可能で



公園都市はどうか

和田：人口を三万人にしたいというが、人口の増える条件には働く場所が必要なのである。例えば工場誘致をどのように進めるのか。本質が、何が要因でこないのか。土地、水、道路、輸送網などのほか、商店街に人を流しこむにはどうしたらよいのか、いろいろ町の要素を拾い出し煮つめていく必要があるかと思う。

地場産業を見直したい

町長：世の中の現象は単独ではなくて、あるひとつのバランスを保ちながら進んでいくのではないかと思う。

企業は条件がそろって初めて成り立つが、成功するとは限らない。原材料のあるところに案外企業が成り立たない。例えば、自分の作った米を他人に売って、その加工したものを逆に買って食べているようなことで、このへんがもう少し地場産業として、検討していく余地があり、これが雇用の拡大にもつながることになると思う。これは、木材も家具も同じである。

後進性のとらえ方

秋田県は東京から遠く、積雪の気象的なハンデがあるため従来から後進性があるとされてきたが、私はこの論法に異論がある。後進性は地理や気象にあるのではなくて、そこに住んでいるわれわれの心の中、考え方にあるということである。秋田県の場合岩手県や山形県で道路を作ったから右回りや山形で道路を作ろうが造るま

いが、秋田県が独自で進めていくことにあり、それが先行することによって隣の道路が秋田県の線に添って造り方をしている。

私は今後遠い将来の五城目がどうなるかはわからないが、後進性は踏みたくない。中央線を通すときも最も難関の如米寺から着手したのもこのような意味からで、その後にモデル事業など補助事業で農村部を整備している。

町中に公共的な建物を

渡辺：この前の広報で、広域体育館の年間利用客が相当な数になっていることがわかったが、体育館からすぐ帰ってしまう方が大部分のようになっている。町中の人通りが少なくなるように感じられる。文化会館が建つか建たないかわからないが、私はそのような建物を町中に作ったらよいと思う。建物に駐車場が付くが、これは郊外



渡辺 正志

でもよいと思う。町中に建物があることにより人通りが多くなり、ショッピングにも活気が出ることになる。せっかく外部の人がすぐそこまで来ていながら、みすみす手をこまねいていることはないと思う。

個人所有地で難かしい問題だと思われが、町中に建物を作ることとは悪いことではないという感じがする。

理想的だが問題点も多い

町長：今の提案は最も理想的なことでも、町中に造ることができ

れば一番よい。ただ、そのような土地を求めることができなかろうか、財源的に果して可能なものかという問題のあるところである。町の中に人を入れる一つの方法として、運動公園と役場を離れたところである。そうしなければ人の層が薄くなる。公園地内の方がよいとすると意見もあったが、役場は言ってみれば工場や作業場であり町民センターとは性格が違うので離れたのも理由の一つである。

町に入るお客を

どうとらえるか

なるほど体育館にはたくさんの方が集まるが、商店のみなさんのこのお客さんを対象に追跡調査をしたことがあるだろうか。ここに来るお客はどんなものを食べるだろうか、どんなものを望んでいるのか、体育館の周辺に土地を求めて販売しても間に合うかどうか、アンケート調査や聞き込みなど調査をする意欲や商売気が欲しい。

市場にテコ入れをしてほしい

渡辺（律）：私はこのごろ朝市のにぎわいが、スーパーなどにおき人通りも少なくなったような感じがする。価格の問題もあると思うが、この町の歴史を支えてきた市場が淋しくなるのは残念である。家は岡本にあるが、この付近は煙所で市場に出店する人も多いの



渡辺 律子

で、売れ残ったものを積んでくるのをみると、他人事ながら淋しいような悲しいような気持になってしまふ。なんとかテコ入れする方法はな

いものだろうか。

石村：現在の市日は生鮮食品が主体なので、歩行者天国のときのように各商店で出店をしたらどうだろうか。また一般の人でも気軽に参加できる不用品の交換コーナーを設けたり、ひとひねりすればもっと人出は多くなるのではないだろうか。

家庭教育学級七年生

藤田：私は公民館の家庭教育学級



藤田 文子

に入ってから七年になる。いろいろ勉強になって感謝している。私たち婦人はある意味で非常に現象面にとらわれやすい。秋田市とか新屋の研修に参加させていたが、その中で物ごとは大局的な見地に立つて考えなければならぬことを学んだ。

母と子と先生と

二つ目には、今校内暴力とか非行とかいろいろあるが、先生と生徒それと母親の関係をみると、私の主観を言わせてもらえば、それぞれみんな相手ばかりをせめてみているということがわかる。自分をみつめるという次元が非常に少ないのではないかと痛切に感じました。子どもの非行についても、それは自己表現であり段階なんだというところで、そこまで理解してやれる包容力のある母親や先生でなければならぬと思った。私事で申し訳ないが、わが子を社会の有能な人材にしたい願いをこめて、子育てに懸命になっている。母親の心がけ次第で社会的にもいろいろな影響を及ぼすことを

知り緊張を覚えている。

この町に嫁にきて

三つ目は、この町に嫁にきてよかったと思っていることである。結婚してから十五年になるが、山と川にかこまれた美しい町で、住みよい町だなあと今でも感謝している。

それに毎年花だん作りとか青年会のみなさんが町中を清掃するなど、町のみなさんは本当に美しい町づくりに心がけているのだなあと感じている。

私、昨年町議会を傍聴したとき町長さんが岡本のゴミ焼却場のことで答弁していたが、私たちも秋田市の焼却場を二度ばかり視察している。その中で感じたことは、美しい町づくりをさらに進めるためには、清掃作業や花だんづくりはもちろん必要であるが、しっかりと焼却場がぜひ必要であるということであった。

最後に、町長さんをはめるわけではないが、この座談会が十数回を数えるといつてびっくりしている。いろいろな人の意見を聞いてくれるのが、町づくりが一番参考になると思うからで、それが即実践実行となることは無理だろうか、よいことだと思ひ感謝したい。

司会：渡辺さんから市場のこと、藤田さんからは、学級のこと、子育てそして美しい町づくりについて述べてもらったが、最後に町長から今日の座談会のまとめをしていただきたいと思う。

市の開催日再検討の要あり

町長：市日の人出が不足になった原因はいろいろある。農家や商店の金まわりの問題、八郎湯の干拓でものがとれなくなったこと、一年サイクルから週間サイクルになった生活様式の変化。これらの変化に対応した市の開催日を考えたいく必要があるかと思う。例えば、家族で買物できるように日曜

市場を開くのもよいであろう。日曜日だと、他市町村からも買物にきやすい。これらの実現には、町民の合意と当事者の理解が必要だ

ゴミ焼却場に見通し

ゴミ焼却場については議会にも中間報告しているが、来年度から着手できる見通しを持っている。小倉のみなさんから協力いただいて話し合い中である。大変長い間ご迷惑をかけてきたがもう少しお待ちいただきたい。

長期計画づくりに参加を

今日はよいお話ばかり聞かせていただいて感謝しているところである。今年の秋には新庁舎に移転したいと思っているが、今まで役場職員が中心になってたててきた長期計画をこれを機会にばらしてみなさんのような建設参加でできる態勢づくりをして、五十八年度ごろから予算の裏付けをしていけるようにしたいので、その節には積極的に参加していただき立派な長期計画あるいはビジョンを作ってくれるようお願いしておきたい。

出席者（順不同）

- 菅 兼 清五連青会長
- 渡 部 薫森林組合青年部長
- 和 田 喜 大商工青年部長
- 石 井 勝 博農協青年部長
- 渡 辺 正 志五城目分館主事
- 山口 房 子家庭教育学級生
- 藤田 文子
- 石村 百合子（敬称略）
- 五城目町長 加賀谷力司
- 司会 阿部 三郎



俳句 黛吟社 新年句

明けましておめでとうございます。  
俳句は五七五の十七字の詩です。芭蕉は一生これに賭けたのです。苦しい旅もみなこのひとすじと思ひだめ、自分を律し、情熱をそそぎました。人間形成の道が、詩の心につながっているのではないでしようか。

「夏草やつわものどもが夢のあと」芭蕉  
黛吟社代表 児玉 順

吾が町や森山高し除夜の鐘  
初詣り亡父の齢も古稀なりき  
神灯に雪ひそかなる初詣  
雪の峰しづかに初春のぼりゆく  
蓬萊の古幅に祈る鏡餅  
みずみずし白水仙や床古りぬ  
元日や今日降る雪の手に白く  
元朝や山水の彩雄揮に  
初鏡亡夫より若く試着室  
孫の手と合う温もりやかるた取り  
元日や歳月支え太き梁  
幾年瀬も一番参詣露路に立つ  
農のこと子のこと祈り初詣  
奥床し明治の柱や初暦  
孫二人家に溢れて初笑い  
初鏡のぞけばのぞく吾れの居て

川柳すずむし吟社 新年吟

あけましておめでとうございます。  
すずむし吟社も結成以来四十七年、先輩諸兄の築いた歴史の重みを感じています。「川柳は人なり」と言われますが、主張のある作品を目指し、次代への接点の役割を果たして行きたいと考えています。それにしても新人の参加を切望して止みません。  
川柳すずむし吟社 猿田 寒坊  
初神楽鈴の音かたき雪の町 荒川 三及  
ふるさとの雪しんと古稀の春 荒川紫陽花

五城目短歌会 新年詠草

元朝へ決意新たに墨をする  
夢ひめる初日へ心の捻子を巻く  
元日にせめて拍手景氣よく  
今年また三日坊主の夜が明ける  
前向きの姿勢で拝む初日の出  
風あけて親子で和む初春の風  
年毎に無理強いをする神の鈴  
日本のゴミのひとり新春を抱く  
新嫁の晴着が増えて初カメラ  
新たな心に誓う賀状来る  
初場所に備え土俵の土を踏む  
初売りへ目出たき顔の列が出来  
情熱の限り生きよと出る初日  
新喜劇幸子と福子が主役です  
中年の旗染め替える新春三日  
あらためて齢を数える明治の掌

新年おめでとうございます。今年もよろしくおねがい申し上げます。昨年は、おかげさまで、こまどり俳句会が「秋田大百科事典」に登載されました。歌会、句会、共に、町民各位の御指導をおねがい申し上げます。

五城目短歌会・こまどり俳句 代表 斎藤 諒一  
新築の杉の香漂う床の間に息子と対して夫は  
不景気と聞かされ居しが正月のどの店見ても  
客の入りよき 佐藤 弘  
国道の二八五号線開通なりて年迎えたり 田中 芳朗  
恵子梨恵六月生まれみどり児よわが初夢は  
木を登りて君がやかたに輪を成して年の始め  
に歌詠みきそう 山平 富子  
よるこびもはた哀しみも運びけむ郵便受にさ  
す初明り 山口 明子  
ほのぼのと空は明けゆき森山の五の字浮びぬ  
雪かがやきて 飯塚定四郎  
高齡者集いて造る飾飾り会館明るく 工藤 留松  
いに 初詣に滑る亡妻の体支えしあの日浮ぶ此の  
道 斎藤 留松  
飼われいる鳥大魚のこもごもの愛もうけとめ  
初春を待つ 土橋 茂徳  
彩ふかく艶いる霞雲幸そこにあるかと思はゆ  
斎藤 諒一

婦人会川柳クラブ 新年吟

皆様あけましてお目出度ございます。  
成年迎え婦人会川柳クラブも十二歳になりました。  
「川柳は時の流れと共に生きてゆく」は私共の良き  
指導者である渡辺銀雨先生の持論でもあります。  
今年も又日々の生活に密着したよい川柳を作り、ク  
ラブの仲間と共に和をモットーに楽しみながらや  
って参りたいと思っております。

婦人会川柳クラブ 鍋谷 福枝

初詣皆善人の顔に見え  
初顔女句わす新春を舞い  
天も地も新春へ始発のベルが鳴る  
受験子へもう新年は待ったなし  
子供等と心うすしく初詣り  
森山の五字新雪に迫りくる  
今年又夢をつなげる老の新春  
はつれ髪かき上げ母の初鏡  
不況風せめて吹かせぬ新春三日  
元朝の白い空気へき締る  
ひかえめの新春ではのり屠蘇に酔い  
髪をすき心に誓う初鏡  
百八一つの鐘が連れた悔い

婦人会短歌クラブ 新年詠草

明けましておめでとうございます。  
婦人会の短歌クラブは満十年を迎えまして、いよいよ節目の年となりました。今後どのように発展して参りますか未知ですが、クラブ員一同張切  
って居りますから、宜しくのご指導ご協力をお願い申し上げます。 短歌クラブ代表 佐藤 貞  
梵鐘の余韻残して新年の足音高く神に詣する  
白妙の雪の明るさ新らしき歌にあこがれわれ  
は詠みつぐ 阿部 みわ

川柳楽しみ会 新年句

冷害に健苗作り第一と心新たに農にはげまん  
父母の鈴組父母の鈴と変りたり幼き生命達者  
にとひたに 斎藤クニ子  
ひとときのみぞれ止みたるさ庭辺のやぶこ  
じの実点点と赤くし 斎藤 文  
来る年の豊作願ひ冷害に強い品種を夫と選び  
ぬ 草皆 文  
どん子の香に真赤な牡丹華やかな仕事始る  
祝ぎ布団裁つ 沢田石和子  
南天のその実の紅さに目をみはる雪をかむり  
し松葉がくれば 渡辺タカ  
お不動の滝に詣でて粉雪ののれる笹の葉夫と  
もぎくる 鍋谷 福枝  
つづがなく除夜の鐘聞く侍せを神に謝しつづ  
ソバを食せり 佐藤はる江  
初釜の湯の音たぎる部屋に座し待つ友いまだ  
こぬまっ茶香ぐ 松田 詩子  
水天宮のお守り握り眠りいる今出産を終えし  
娘よ 山平 富子  
お年玉に玩具を贈ける末孫に家族ら笑う夕餉  
なごやか 船木 セツ  
この冬はハタハタならぬ鮭のすし漬けて寝  
も気になる味かげん 村上 秀子  
一年のあゆみを短歌に綴りおく思い出のかず  
かず懐かしみみる 佐藤 ミネ  
元旦の光集めて降る雪を手を受け止めて神前  
に立つ 佐藤 貞

川柳楽しみ会代表 石川 富司

明けましておめでとうございます。  
館町町内を中心に発したこの会ですが、いつの間にか七年を過ぎました。さらに他町内、そして全町へと、楽しみながら心の豊かさを求め、連帯の輪を広げたいと思います。  
初夢の色はでっかい孫の彩  
孫二人並んだ賀状で年が明け  
くす玉を的に新雪固く踏む  
ダルマ握え火と北なる初暦  
雪囲い門松かざり北の新春  
賀状から声から孫へおめでとう  
初春の陽はまろやかな日本髪  
年金の重さ背負った夢で明け  
元旦の人間みんな丸い顔  
伊藤 酒泉  
嶋崎あやめ  
長沢 仙里  
加藤 円心  
本間 玉女  
長沢 山女  
細田 陽炎  
本間 酒好  
石川 富司

月会  
二例  
五十五年度  
特別会計黒字決算となる  
十定  
救農事業費など補正

十二月十六日から始まった町議会定例会は、五十五年度一般、特別会計の審査をしたほか、提案された十八件の議案を審議し、二十四日原案どおりの可決をして終了した。  
それによると、五十五年度一般会計は九千六千九百五十四千八百円、国民健康保険特別会計で六千八百五十九千四百円、簡易水道事業特別会計七千五百四十四千四百円といずれも黒字となっている。  
このたびの一般会計補正予算は一億九千八百五十五千円の減額で、補正後の総予算額は、四億九千九百五十三千八百円となり昨年同様と比較して一三・六割の伸びとなっている。  
町長の行政説明、一般質問、議決された議案の主な内容は次のとおりである。

行政説明

登熟歩合の低下が減収要因

本年の稲作は、五月中旬から六月下旬までの異常低温と日照不足により、初期生育が不良となり、これが茎数不足につながり、八月以降も低温が続いたのに加えて、出穂直後の稲は受粉が粗害されたため不稔モミや、穂づれによる変色モミが発生した。  
登熟後半も低温で推移したため刈取り時期を延ばして登熟を期待したが、粒の肥大成長が抑制され青米や死に米などが多く発生して登熟歩合が低下し、大幅減収につながったものと思われる。

戦後最も悪い作況

この結果、本町の作況指数は、七四・九割と予想され、平年に比

するため、去る十月十五日「異常気象対策本部」を設置いたしました。被害農家の救済措置について機会あるごとに関係機関へ被害の実態を訴えお願いしているところである。

天災融資法の適用と激甚災害の指定については、十二月十一日閣議決定され、秋田県には、天災資金五十億円、自作農維持資金三十億円の配分額が内示されているところであり、この後、市町村ごとの資金枠が配分され、これを受けて農家に資金貸付が行われることになるが、貸付されるのは、来年の二月ごろと思われる。

しかし、資金枠の配分は相当厳しいものと予想されるので、今後とも、国県に対し、資金枠確保のため、強く要請して参りたい。

被害を受けた農家の労働雇用を図るため、営林署にも協力方を強く要請していただく。浅見内林道の橋梁二橋、総事業二千九百八万円について繰上げ施行し、その労務については、地元住民を優先して雇用する旨伺っている。

一般会計と黒字決算

昭和五十五年度一般会計歳入歳出決算の概要について申しあげると

一般会計歳入歳出決算

- ・歳入総額 三億八千四百五十五千二百円
- ・歳出総額 三億七千四百五十二千七百七十七円
- ・歳入歳出差引残額 九千九百三十七千五百円

となり、このうち継続費及び繰越明許費の翌年度繰越財源として

二億二千八百三十三千三百あるので、これを差引くと実質的に九千六千九百五十四千八百円の黒字となる。

国民健康保険特別会計決算

歳入総額

六億八千一〇二万五千二百四十四円

歳出総額

六億一千二百六十九千六百一〇円

歳入歳出差引総額

六千八百八十五万九千四百一十四円

簡易水道事業特別会計決算

歳入総額 五億五千四百五十四千四百円

歳出総額 四億四千八百六十三千三百円

歳入歳出差引総額 七〇万五千四百四十一円

となり、いずれも黒字を見込める状態である。

議決された議案

議案第四十三号

五城目町立公民館設置条例の一部を改正する条例制定

五城目町内川分館の老朽化に伴い、内川地域の位置的な中心地に分館を移したい意向があり、その合意に基づいて、従来の湯ノ又部落館にその位置を変更しようとする条例改正。

これまでの内川分館は、旧内川村役場として、合併前に建てられその後内川出張所、内川保育園などにも活用され、その使命を終えた遊休の施設となったもの。

議案第四十四号

五城目町開発センター条例の一部を改正する条例制定

町民センターの一部一・二階を株式会社秋田中央観光社の食堂として、地方自治法第三八条の第四項の規定により行政財産の使用許可を与えておるものであるが同法第二五条の規定により、その使用料に關し、条例を定め、これまで月額三〇、〇〇〇円の基本料金としていたものを昭和五十六年四月にさかのぼり月額五〇、〇〇〇円に改定。

この使用料の改定に當つては、最近における食堂の利用状況、それに町民センターにおける修繕料、保険料、減価償却等と国における建物の使用料の算定、基準などを勘案して定めたものである。

議案第四十五号

辺地総合整備計画の変更

昨年九月の定例議会において議決をいただいた辺地総合計画の変更に関するもので、この変更内容は、辺地の区域と事業内容の変更で辺地に該当するかどうかは、政令で定められた基準に従って計算される辺地度点数により判定されるが、この基準の運用が、今年から極めて厳格になり、その結果一部辺地の要件を欠くところが出たので区域の変更を余儀なくされたものである。

この辺地事業で整備した方が有利な町道の路線、防火貯水槽の設置箇所を増すなど、事業内容も変更したものである。

議案第四十六号

町道の路線認定

三路線について、町道に認定したものでその一は、このたびの中央線の開通に伴い、奈良靴店前から、渡部金平商店前までの六九

を下ノ小路線として、その二は、福祿寿前から九六倉庫前までの五一四を新畑町線として認定したものである。

その三は、県道真坂五城目線に關するもので、昭和四十九年に白水沢集落入口からバイパスが開通しておりその起点から、八郎湯町境までの七三一を新規に町道として認定するよう、このたび県から要請を受け、八郎湯町とも現地調査のうえ、協議し、これを横町幹線として認定したものである。

議案第四十七号

町道路線変更

中央線開通との関連で、議案第四十六号の町道認定と同様の趣旨から、渡部金平商店前から長栄堂前までの一三〇を既存の下町線に編入し、九六倉庫前から農協ガソリンスタンド前までの一四三を既存の山手線に編入したものである。

議案第四十八号

町道路線廃止

都市計画街路事業中央線が開通したことにより町道海老谷小路線とが重複することになるので、いわゆる長栄堂前より国道二八五号線までの一〇二を廃止するものである。

議案第四十九号

昭和五十五年度五城目町一般会計歳入歳出決算認定

議案第五十号

昭和五十五年度五城目町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定





# 今年もがんばります

## 社会教育に学ぶ

新年明けましておめでとうございます。町が行っている社会教育には、いろいろな講座、教室、学級があります。

若い人も、お年寄りも、男の人も、女の人も、たくさんの人たちが、勉学にスポーツに励んでいます。みんな学ぶことに、体を鍛えることに心から喜びを感じている人たちがいます。今年も教養を深めるために、体力づくり仲間づくりに積極的にとりくもうとしています。

新年にあたり、この人たちが今年の抱負や心に決めたことなどを語っていただきました。

### 水泳を生活に とりいれて

ママさん水泳教室  
松橋 律子（畑町）

明けましておめでとうございます。

毎年のことではありますが、年頭にあたっては前年の反省をすると共に、今年こそは、と何かしら心に決めることが大事だと思い、私も昨年からはじめた水泳教室を



続けたいと思っています。

町主催の幼稚園児を対象にした水泳スポーツ少年団として、五月から水泳教室が始まりました。この教室は週一回行なうもので三グループに分れて練習しています。

子どもたちと指導員とのふれ合いをもつため、一語になつて遊んだり泳いだり、あつという間に時間がすぎます。毎週子どもを迎えに歩いているうちに、自分でも泳いでみたいと思つていたり、ところへ公民館より子どもと一緒に練習してみませんかと誘われ、他のお母さん方と一緒に水泳教室に参加させていただきました。

最初は水が怖く浮ぶ事もできずかなづちのような私でしたが、温かい指導と時にはきびしい練習のくりかえしのうちに、少しずつ前に進むことができました。その時の喜びは今でも忘れられませんが、また、練習中自分に余裕がないながらも、我が子の練習をみて目と目が合ったときには「母さん頑張れよ」と、子どもに励まされているような気がして一段と力が入ります。

練習が終つて友だちと語り合う楽しさができました。また、あまり丈夫でなかった私ですが、水泳をはじめてから体の調子もよく、今では楽しく一週間が待ち遠しく

### 決意新たに

高齢者体力づくり教室  
堀 繁次（紀久栄町）

高齢者体力づくり教室へ参加して四年になりましたが、いつも思うことは、公民館の方々が私たちの年代に合った内容のプログラムで、熱心に指導してくださることです。本当に深く感謝しております。

私共高齢者の体力づくりは、幼児の体力づくりより難しいそうですが、それだけに指導する先生方もいろいろな気をつけているようです。折角の体力づくりに「ギックリ腰」を引き起したり、怪我をし

いくらいです。

幼稚園では各研修会で、水泳教室を取り上げて発表した事があります。五城目町は環境や施設が他の市町村よりすぐれているし、指導者も積極的に指導してくれまので、他にはみられない光景と評判でした。

「健康に勝る宝なし」といわれておりますが、現在のように生活は複雑化し、多様化するにつれ、私たちの健康も日々おびやかされようとしております。自分の身体を知り、コントロールができるのは自分だけです。ふだんの運動と注意で自分の健康はつくれると思います。美容のため、体力づくりのため、ストレス解消のため、私は水泳をとりいれていきたいと思

みなさん大いに水泳教室に参加してみませんか。

たりしてはなにもならないからです。最初は手足を軽く動かし体をほぐしてから軽い体操を十分時間をかけて行ない、体がぽかぽか暖まってくると、自然に関節を曲げ



たり、あるいは二人で組になって和気あいあいの中に体操をやります。それが終わると色々なゲームをやります。「あつ」という間に二時間の体力づくり教室が終了します。

### たのしい

#### プールきょうしつ

プール教室  
加藤由深子（五城目小一年）

わたしは、四時から五時までの水泳きょうしつに、かよつています。

わたしは、みんなよりおよぐのが、へたなのは、ひらおよぎと、クロールです。クロールは、こきゅうをするときに、あしがとまつてから、いつも先生にちゅういされます。もつとじようずになつて、先生にちゅういをされな

うになりたいたおもつています。火よう日に、きようそうもしました。プールがおわつてからシャワーのところ、じゅんこちゃんたちとおかしいことをいつてわら

体力づくりのあつた日は、ご飯もおいしく、夜もぐすり眠れます。私たち高齢者は、夜二回もトイレに起きる事がありますが、この日に限つて朝まで熟睡しているのです。教室でやつた体操は日常生活の中にも取り入れ、特別時間をかけなくとも、朝起きる時に、寒い時は布団の中で、左右寝返えりをして、手足を曲げ伸ばしたり、着布団をたたんで足のせ、腹筋をしたりしても結構良い運動になり、続けてやっています。

自分は健康のためにやつた「体力づくり」がより多くの友だちをつくり、コミュニケーションに役立っているのかと、今さらながら感銘しております。私たち高齢者は胸もとを開き、率先して地域の和、人の和を広め、社会のために役立つためにも、一九八二年は熟年者の出番だ、という決意を新たに体力づくりに励んでいきたいと思

うでしつたことがあつた。ふゆになつたら、かぜをひいて

休む人がたくさんいるので、じゅんこちゃんとわたしとふたりだけでも、先生はいっしょうけんめいにおしえてくれます。

わたしのおかあさんのころは、水泳きょうしつに、かよつて



のともだちを多くしていきたいとおもいます。ほかの人にまけないようにながくおよぐること、早くおよぐようになり、大きな大会でかつやくできるようにしたいです。

プールがなかったそうです。とお川やうみにいかなければ、およぐところがなかったのですね。およげません。だから、わたしたちがしあわせだと、いつもこころの中でおもつています。





## 新年に思う

ママさんコーラス

斉藤ヨウ子（田町）

あけましておめでとうございます。

あわただしかった年の暮から一夜が過ぎ、除夜の鐘の響きとともに新年を迎えました。親子揃って神参りに行くとき、身も心もさわやかで、元旦ならではの気分ひたりながら、お互いに願いを胸に秘め「今年こそは」と手を合せてました。私は願いの一つに、「ママさんコーラス」についてそつと打ち明けてみます。



の日の式典に参加し、公民館大会、詩吟の大会さらに南秋婦人会大会のアトラクションにも。それに昨年の八月、秋田の女性合唱団と五城目ママさんコーラスの交歓会が

町民センターで行われた時、三十人も人数に圧倒され、その迫力とボリュームのあるすばらしい歌声に感激した事が今でも忘れられません。

去る十一月、第三回目の南秋合

唱祭にも参加、無事に終りました。今回は何かと都合つかないママさんが多く、人数が足りない上、練習の日も浅く三部合唱は無理だろうと考えていたら、特訓に特訓を重ねた結果、まずまずとうなづけるハーモニーになりました。やる気になれば何でもできるのだと、その喜びは全く感無量でした。たまたまいつも人が揃わないという課題があります。今年は歌うことだけでなく、それにプラス、レクリエーションを何回か増してやって見たらどんな結果になるでしょうか。

このようにコーラスは町のため諸団体との交わりの中に大きくはばたいていると思います。今年もより一層の計画を持って進めたらきっと人の心をうつ合唱になることでしょう。目まぐるしい社会情

勢の下で、ほんの一時でも心のやすらぎとしてコーラスは欠かす事ができません。小さな事に拘らずお互いが励まし助け合って、楽しいチームワークを保持しながら、明るい地域社会や家庭づくり役立つグループになるようにと願ってやみません。



孫の相手、店や日常の雑用にと明け暮れる毎日。ある朝、突然町内の先輩の勧めもあって一昨年は率浦大学にお世話になった。そして今また更にご厄介になつていてラストを迎えようとしている。これも一重に年齢の差こそあれ、皆と知己の如く気楽に愉快に学習ができるようご配慮、ご指導くださった石川昭一さんはじめ関係者の方々のご苦勞の賜ものと感謝して

## 老骨に学ぶ

率浦大学院

長谷川美雄（紀久栄町）



いる。また、ともすれば忘れがちになり易い家族の理解と協力にも感謝する次第である。

老いに鞭打つ愛の眼差しに満ちた率浦大学院。生涯卒業したくないのだが規則は規則。しかし今年

も何かの形で学習を続け、体力を培い、用を足して、老骨への栄養補給にベストを尽くし、家庭や世間のお荷物にならないよう心したい。良かれと信ずる事を、忠実に踏まえて生きて来たその是非はともかく、今更迷うことなく今年も商売、そして人生のスタートラインに立ったのである。

思えば学びしを心してゆきたいとばかり、今改めて大学院を振り返ってみたい。老若のあり方の話し合い、料理、体力、健康の具体例、身近の人傑、歴史、旧跡、町や果施設の移動研修、農事と人の踏む道を教示された石川翁。普段分っているようでも、講師の先生方の講義を承るにつれ、新たに深く脳裏に焼きつけることができた。老年になつての学び事、夢にも思っていないだけにこの喜びは大きい。諸手を挙げて絶叫したい。率浦大学、大学院、万才三唱。麗しと慕う郷土に住みなれて今朝は年あらたまる。

・良く喋る戯れる終り歌うたう踊ればおどろ孫とひとつに  
・こころをばひらきあかるくうちなごむ今日の集いのたのしかり

・香にふかき心が花にふれもあいい郷土が良さを見えおしにけり

## 恋地スキー場開き

五城目恋地開設スキー場のスキー場開きは、一月八日午前十時半から現地で行われます。

当日は、安全祈願や初すべりなどを行ってスキー場開きを祝うことになってます。  
なお、積雪が少ない場合は、スキー場開きを延期することがありますのでご注意ください。



## 希望に夢を馳せる

楽焼クラブ

佐藤 チホ（一番町）

新年明けましておめでとうございます。

私が生涯学習などと考えもせず、とにかくおそまきながら六十の手習いと、飛び込んだのが楽焼クラブでした。

ある楽焼著書によると、わび茶の創始者千利休の指導により、抹茶碗を焼上げた長治郎なる者が、当時豊臣秀吉に賞賛され、「楽」の金印を受けたと書かれて居り、以後その長治郎の抹茶碗は後世まではめたたえられて居ります。



ぬ逸品が生ずる事もあり、焼物にあこがれる唯一の魅力でもあると私は思っています。一に焼、と言われるように、いかに火の手順が難しいかを早五年生の私もようやく感ずるようになりました。

の黒楽の名器などとなにほどこばかりに似たるを我が身の慰めとし、そんなに簡単に物になつたら何の苦勞ぞと自嘲の連続です。

あたり、秋田市で出合いのコンサートが行われ、私たち公民館楽焼クラブから手作りの植木鉢を贈るお手伝いができ、一同で喜びをわかちあいました。

本年も公私多忙の中から石川講師、山平富子部長のお力添えを得て、それぞれの技を交換し合い、作品の向上に努力したいものです。私たちはこのクラブを生涯学習そのものの友として、五城目町の心の豊かさに少しでも役立つ事を念じ、新たな希望に夢を馳せるばかりです。



五十七年にむかって

ゆりかご第一家庭教育学級

石井キヨエ（八田）

あけましておめでとうございませう。



私たちの学級「ゆりかご第一家庭教育学級」は十数年間の結び付きにて、子供の成長に合わせて学習してきました。過去に何回か挫折を経験しながらも、その場を切

一日一日を大切に

どんぐり放送利用グループ

金子 早苗（矢場崎）

一九八二年、新しい年が明けたに、ことはこんな事をしようという考えです。そんな中で、一番気になるのが、小学一年と保育園へ通う子供たちの様（しつけ）のことです。

「あけましておめでとう」と言うたびに、この子たちに私はどのように接していったらいいのか考えあぐんでしまいます。でも、今年はこのような心配は少しは解消されそうです。と言うのも昨年から参加している「どんぐり放送利用グループ」で、私が、私を力づけてくれているからです。

このグループは、NHK放送番組の「おかあさんの勉強室」を利用



用して、子育てはどうあるべきか話を話し合う学習会です。この学習会で得たものは、叱り方一つでも、だから叱らない、ほめるべき時はほめる等々。子育てに、少しずつではありますが、

変化を見せてくれています。我が家は、主人と私、それに私の両親と、子供に手をかける大人が四人もいます。そのせいか上の子供などは依頼心が強く、こまっています。私自身このことを十分知っていますが、つい手をかけて

しまっています。それに、私は口より先に手が出てしまうほうなので、いつも後になって反省してしまいます。この二点を、いくらかでもなおしたいと考えています。そのため、私が学習会で勉強したことを私一人の学習で終らせず、家族みんなの学習にしようと思います。番組を家族で見るといいでしょう。どのように育てていくべきかを話し合うようにもしたいのです。また、子供にも何か、自分から進んでできるものを考えてあげたいと思います。

子育ては、今年だめだったから来年は一からやり直せばいいといったものではありません。毎日の積み重ねが大事なので、今年の三百六十五日、その日一日を大切にしていきたいと思

書を生涯の

趣味として

書道通信講座

松橋テル子（湯ノ又）

何の能もない。加えて不勉強でただ、ぼんやりと日を重ねている私。「何か少し習ってみようかな」と思っていた時に丁度、生涯教育奨励員を通じて、書道通信講座の受講生の募集を知りました。日中仕事を持っている私にとって、通信による学習は最も都合で、さっそく受講を申し込みました。勢い勇んで申し込んでみたら、なかなか練習時間が持てません。ですからいつも提出日の前日に二、三枚練習して粗末な作品を

提出してしまったり、提出が遅れてしまったりします。次の手本は十分に練習を重ねて、満足した作品を提出しよう。この次はもう少し計画をたてて時間をたっぶりかけよう、と手本を開くことに心に



とか、書は心の表現こそ究極である、とかいいますが、私の書はまだ指先や手首の技巧に過ぎません。それでも筆を持つ楽しさに日に日に増して来るように感じますし、筆を持つ心が安らぐような気がします。できる限り多くの時間をみだし、練習を重ね、一生を通して書を趣味に生きたいものだ、と思っております。

新年を迎え、毎年のことながら今年こそすべての上で一生懸命頑張りたいと思っております。特に書道の方は、もう少し書の真髄を探究し、雑念を捨て、無我の境で一心に書き、味のある作品を提出したいものだ、と考えています。最後にこの素晴らしい講座を受講できる幸せと、御指導くださる先生、お世話くださる関係職員の方々に感謝申し上げます。

NHK東北民謡コンクール

出場者と観覧者募集

NHK秋田放送局では、二月十四日、秋田市文化会館で行われる第三回NHK東北民謡コンクール秋田県大会の出場者を募集しています。また、このコンクールの観覧者も募集しています。

【出場者】

▽出場資格

・秋田県に住んでいる方  
・年齢が十五歳から三十歳（昭和三十六年三月十四日から昭和四十一年三月十二日）までに生まれた方  
・性別、職業、学歴、国籍は問いません

・民謡を歌って継続的に収入を得ている方を除きます

▽申し込み

・ハガキに住所、氏名、年齢（生年月日）、職業、曲目、調子を書いてください  
・申し込み先  
〒〇一〇  
秋田市山王二一―二  
NHK秋田民謡コンクール

【観覧者】

秋田県大会の観覧を希望する方は、往復ハガキに住所、氏名を書いて、一月三十日までに申し込んでください。申し込み先はコンクールの出場者と同じです。

川をきれいに!!

「川を捨てるのはやめましょう」

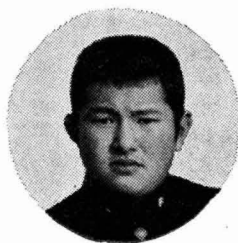


五 城 目 町

## 猿田選手 米国へ遠征

ノースダコタで親善試合

五城目高校の猿田充選手（上種口）が、第二十二回全国高校レスリング米国遠征選手団の一員に選ばれ、十二月二十六日に成田空港



猿田 充

猿田選手は一〇一キロ級に出場する。

猿田選手は昨年、東北高校選手権、東北総合体育大会、国民体育大会で優勝、全国高校総合体育大会二位という素晴らしい成績を残している。海外遠征は初めてという同選手は「アメリカでは民泊しなければならぬので、自分の英語が通じるかどうか」と試合よりも言葉の方を心配していた。

## 六日に出初め式

五城目町消防出初め式は、一月六日午前九時から消防署員や消防団員などが参加して行われる。消防署前での観閲の後、ポンプ車などをしたえて式典会場の広域体育館まで市内行進をして、町内のみなさんに火の用心を呼びかける。

途中、上町通りの小浜薬局前付

近で分列式を行うことになっている。当日は午前九時に煙火（ノロシ）を三発打ち上げ、町内のみなさんに火災予防を知らせるとともに火災予防をうながす。

行進経路は次のとおり。

消防署前→上町通り→山手線→消防署前→上町通り→新町通り→一番町通り→中川原通り→西野屋菓子店前→体育館西口→広域体育館

田口信教 金メダリスト

## 水泳教室

▽主催 五城目町教育委員会  
▽期日 一月十四日（木）  
十五日（成人の日）

▽会場 屋内温水プール

▽対象

・初心者・競泳者

水泳愛好者並びに一般、小、中学生、クラブ員

▽日程

・十四日  
午後二時～四時 競泳者、初心者

・十五日  
午前十時～十二時 競泳者

▽申し込み 当日受け付け

▽受講料 無 料  
（プール使用料のみ納入してください）

## カ メ ラ リ ポ ー ト

## 好評な民謡踊り講習会

同好者約30人が参加

十二月二十日、雀館児童館で民謡踊り講習会が開かれ、参加者たちから「たいへん勉強になった」「ストレス解消にいい」と喜ばれました。

この講習会は、踊りを覚えるだけでなく健康や美容のために、雀館児童館が秋田県民謡踊り協会から指導員を招いて開いたものです。当日は雨まじりの強い風が吹く、あいにくの天気でしたが、それでも熱心な同好者約三十人が参加しました。

講習は「円満蔵甚句（えまぞうじんく）」の踊りで、午前十時から午後四時までみっちり行われました。ユーモアを混じえた適切な指導に、受講生たちは時間を忘れて学習していました。

雀館児童館では好評にこたえて一月十五日午前十時から同児童館で、二回目の講習会を開くことにしています。



畠山先生（左）の指導で行われた講習会



表彰状とメダルを手に町長を訪れた山口さん（右から二人目）

## 山口さん 全国表彰される

全国で36人県内からはただ1人

山口久之助さん（七七・古川町）が、第二十四回建築士全国大会で多年にわたって、わが国建築の伝統的文化の発展に多大の貢献をしたとして表彰されました。

山口さんは若い時、関西で建築の修業を積み、今までに神社やお寺の建築、修理を数多く手掛けてきました。今回の表彰はその功績が認められたものです。同大会で表彰された人は、全国で三十六人県内からは山口さんただ一人でした。



1月6日 消防出初め式



献血をお願いします

1月13日

一月十三日午前九時五十分から  
献血車が町内五カ所を巡回して献  
血をお願いしますので、ご協力を  
お願いします。

献血者には、県と町から記念品  
を差しあげます。献血手帳を持っ  
ている方は、当日持参してください。  
献血車の巡回場所と時間は次  
のとおりです。

・役場前  
午前九時五十分～十時三十分  
・農協前  
午前十一時二十分～  
十一時五十分  
・新谷菓子店前

秋田県テレビ広報番組

▽ABS秋田放送

テレビ県民室 午後5時～

3日 おらが町の交響楽団  
10日 ふるさとの文化遺産  
角館・田沢湖編

17日 あきた東西南北  
田沢湖町からこんにちは

午後一時～一時三十分  
秋田相互銀行駐車場  
午後一時五十分～二時二十分  
・営林署前  
午後二時四十分～三時二十分

聴覚障害者の

補聴器の巡回相談

次の内容で補聴器に関しての相  
談を行います。

▽日時 1月8日(金)

午前10時～午前11時

▽場所 町民センター 二階

「いずみ」

※身体障害者手帳をもっているか  
たは手帳をご持参ください。

※印鑑をご持参ください。

町内対抗総合体育大会

水泳大会

▽期日 1月15日(成人の日)

午後1時～(監督会議)  
午後1時30分競技開始

24日 障害者福祉を考える  
31日 県政報告

▽AKT秋田テレビ

県政の広場 午後5時15分～

2日 秋田の民話をたずねて

9日 ふるさとの文化遺産

16日 県政第一線ただ今奮闘中  
秋田編

23日 県政第一線ただ今奮闘中

30日 知事に聞く

▽会場 屋内温水プール

▽方法

①自由型・団体(リレー)  
1人25m×5人125m

②参加選手 小・中学生120歳  
20代30代 40代各1人  
(個人戦は年代別)

③予選通過(3チーム)  
準決勝・決勝

NHK学園の通信教育で

あなたも学習を

NHK学園では、通信教育の生  
徒・受講生を募集しています。

▽高等学校 普通科コース

NHKの放送を利用して、働  
きながら高校卒業の資格をとり  
たい方に  
入学資格  
・中学校卒業・卒業見込みまた  
は同等以上の学力のある方

・受付期間 3月1日～4月15日

▽高等学校 教養コース

高等学校レベルの知識と教養  
を身につけたい方に  
受講資格  
・15歳以上の方ならどなたでも

・受付期間 3月1日～4月30日

▽社会通信講座(書道・簿記など  
11講座35コース)

余暇を利用して、趣味と教養  
を身につけたい方に  
受講資格 どなたでも

・受付期間 2月1日～5月20日

・詳しい案内書をご希望の方は、  
お近くのNHKまたは、左記ま  
で、ハガキに高等学校(普通科  
コース)・高等学校(教養コー  
ス)・社会通信講座別を記入の

誕生

おめでとう  
ございます



富田 石井 智 10、19  
西野 金子 直樹 10、24  
西野 登 美紀子 10、29  
長義 麗 マリ子 三女

黒土 石井 勇気 11、1  
大川 2区 小原 博之 11、4  
岡本 工藤 純 11、12  
清一 清一 正子 11、12  
岡本 清一 正子 11、12  
久保 一関 愛美 11、16  
廣美 久美子 11、24  
柳原 良紀 かね子 11、24  
喜俊 直矢 11、24  
隆介 律子 長男  
小倉 千葉 由花 11、28  
御蔵町 渡辺 陽 12、1  
憲彦 紀成子 12、3  
岡本 松橋 拓郎 12、3  
岡本 清一 朋子 12、3  
岡本 石井 陽子 12、3  
小倉 佐藤 卓弥 12、11  
蓬内 宮城 純子 12、12  
茂士 文子 長女  
岡本 喜孝 愛 12、21  
喜孝 愛 12、21

チェス愛好者を募集

町内の小中学生を対象にチェス  
をやってみよう方を募集してい  
ます。このチェスは日本の将棋に  
似ているゲームで、西洋では多くの  
ファンをもっています。

希望者は左記の方へお申し込み  
のこと。

申込先 ①(〇六六)②三四三二  
の山田まで  
・年会費 百円で会員制にする

エネルギー展

▽期間 一月二十日～二十五日  
(午前十時～午後七時)

▽会場 イトーヨーカドー秋田店

雀館児童館 習字を教えます

雀館児童館では、大人の方へ無  
料で習字を教えます。人数によっ  
て日時を調整しますので、希望者  
は雀館児童館(電話3606)へ  
申し込んでください。随時受け付  
けます。



老人ホームに  
寄せられた善意

第二回民謡踊り講習会

二回目の民謡踊り講習会が次の  
内容で開かれます。初めて参加さ  
れる方は雀館児童館(電話36  
06)へ申し込んでください。

▽日時 一月十五日

午前十時～午後三時

▽場所 雀館児童館

▽講師 秋田県民謡踊り協会  
畠山指導員

▽曲目 津軽じょんから外

十一月十五日  
白菜 40名外  
高田生活改善グループ  
パッキヤの会

十一月二十日  
慰問  
若美町野石小学校児童50人

十一月二十三日  
雑布 西野 佐藤カネノ

十二月二十六日  
施設入所者との交流

五城目婦人会